

令和元年度青年部 (次世代の会) 部長会の開催

高知県遺族会青年部は、令和2年2月22日(土)午後1時30分から、高知県護国神社済美館で、青年部長会を開催。黒川青年部長、副部長3人のメンバーのほか、大石遺族会会長と事務局が出席、令和2年度の青年部事業などの検討を行いました。

部長の開会あいさつの後、事務局から来年度の編成方針として本年1年間開催された「今後の遺族会の在り方に関する特別委員会」報告書の説明を含め、令和2年度の事業計画と収支予算案の説明がありました。

意見交換に入り、黒川部長が進行役として、青年部として部員拡充や事業の方向などの課題が提示された。

積極的な意見交換の中で主な内容は次のとおり。

- ① 部員確保のための会員名簿の作成はその必要性をじかに感ずる支部が主体として行うことが必要
- ② 忠霊塔の清掃管理などをマスコミの力を借りて地域のイベントとしていく
- ③ 今年の高知県主催の戦没者追悼式が日曜開催となることを契機に若い世代の参加を呼びかけ、追悼式の在り方を

見直す契機としたらどうか

- ④ 事業推進に向けて、クラウドファンディング活用のは

非

- ⑤ 護国神社を県民に親しまれる社にするため、周辺の史跡などの情報を発信する

- ⑥ 魅力ある会報に向け、青年部員の紹介や寄稿文の掲載

また、青年部事業の今後の方向などその時々肩肘張らずに話し合う場で、意見の出し合いと集約。そして青年部の意向を本会事業へ反映させる方法などが決定された。

最後に事務局から、遺族会活動についての情報発信の手法としてSNSの活用のルール化について、他県状況を踏まえた報告が行われ、会議を終了した。

次ページに、今回の部長会で決定された青年部の話し合いの場として「活動企画メニュー」の募集を行います。



部長会での検討状況(令和2.2.22)